

## 厚生文教委員会協議会における質問及び答弁等について

項番	質問	答弁	対応状況
1	増築棟を建築する場所の駐車場台数が少なくなることや、また、増築棟ができることで患者数が増える可能性があると思うが、今後の駐車場管理についてどのように考えているのか。	増築棟の建築により、来院者数も増加することが考えられる。 今後、来院者数の状況により、駐車場台数が不足する場合には、指定管理者と協議のもと、新たな駐車場場所を確保するよう努める。	約20台分は減るものの、昨年度に駐車場台数を増設（75台）しているので、現時点では増築棟の建設後も駐車場の不足は生じないと想定しているが、今後、不足が生じる見込みとなれば、新たな駐車場確保の検討を始める。 （資料番号3の項番12と同一）
2	駐車場出入口が複数になることで、来院者が駐車場出入りの際に混乱や駐車券発行などで出入口付近が渋滞することが考えられるが、どのような対策を考えているのか。	工事期間中の駐車場については、現在の来院者用駐車場に加え、仮設来院者用駐車場を整備することで複数の駐車場出入口ができる。 駐車場出入口が複数になることで、駐車場への進入の際、駐車券発行の受け取りなどに時間を要し、渋滞が発生することが考えられることから、工事期間中については、現在の来院者用駐車場も含め、入場ゲート等を設置せず駐車場を無料開放する予定。 また、来院者が駐車場出入等で混乱しないよう、駐車場出入口付近などに誘導警備員を配置し、安全確保に努め運用を行う。	「増改築期間中に車両誘導員を配置することや、渋滞への対策を講じること」を覚書（案）第5条第5項に反映済み
3	救急車で搬送の際、患者受入場所の前を一般車両が通行するようになる。搬送されてくる患者へのプライバシーなどはどのように考えているのか。	工事期間中は、救急受入場所前も一般車両等の通行路となることから、救急患者のプライバシー確保として、救急患者受入時には、可動式パーティションなどを設置し、一般車両から患者搬送の状況がわからないようプライバシーを確保する。	同左（考えに変更はない）

項番	質問	答弁	対応状況
4	<p>想定以上の来院による病院増築ということで、さらに、外来患者数の増加が見込まれ渋滞発生の問題が考えられる。大阪岸和田南海線からも進入路とすることで2方向となることから渋滞緩和されるものとするが市としての見解を教えてください。</p>	<p>和泉中央線から大阪岸和田南海線に通じる道路については、通り抜け出来ない道路となっている。</p> <p>これは、市立総合医療センター建設に係る警察との協議において、病院開設で通行量の増加が見込まれることから、警察は事故防止の目的で通り抜け出来るような道路は作らせないとの方針であった。</p> <p>市としては、救急医療を実施する病院であることから、再度警察と協議を行った結果、大阪岸和田南海線側からの河川管理用通路は、救急車両のみが利用できる許可を得ることができた。</p>	<p>大阪府や警察等との協議については、具体的な資料（図面等）を提示する必要があるため、基本設計が完了する令和5年9月頃を目途に、協議を開始する予定。</p>
5	<p>大阪岸和田南海線側の河川管理通路は、救急車両のみしか通行できない許可となっているが、利用者の利便性向上のため、再度、警察と協議できないのか。</p>	<p>工事期間中は、工事車両などの通行もあることから、利用者の利便性向上に鑑み、関係機関に確認する。</p>	
6	<p>寄附の内容や、その他、工事期間中の患者への対応、仮設の駐車場管理などに関して、きっちりと指定管理者と取り決めをしておくほうがいいと思うので、その点について教えてください。</p>	<p>建築中の建物の管理や患者等への対応、また、建築後の寄附などに関して、責任の所在等を明確にしておく必要があることから、後日、その内容を盛り込んだ覚書を交わす。</p>	<p>「指定管理者の責任の所在等」を覚書（案）第5条第4項に反映済み （資料番号3の項番5と同一）</p>